

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和4年第8週（令和4年2月21日～令和4年2月27日）

福岡県感染症情報センター

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	3	87	176	1,598
腸管出血性大腸菌感染症	2	12	7	100
梅毒	5	44	133	1,182
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1	2	15

※新型コロナウイルス感染症の最新の発生状況等は別紙をご覧ください。

■ 定点把握疾患報告数

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
インフルエンザ	2	0.01	0.67	26	0.01
RSウイルス感染症	72	0.60	0.73	726	0.23
咽頭結膜熱	28	0.23	1.47	415	0.13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	127	1.06	1.09	968	0.31
感染性胃腸炎	623	5.19	0.83	13,655	4.36
水痘	18	0.15	1.50	199	0.06
手足口病	3	0.03	0.50	280	0.09
伝染性紅斑	2	0.02	2.00	31	0.01
突発性発しん	47	0.39	1.27	743	0.24
ヘルパンギーナ	1	0.01	1.00	63	0.02
流行性耳下腺炎	2	0.02	0.50	71	0.02
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	2	0.00
流行性角結膜炎	1	0.04	-	93	0.13
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	4	0.01
無菌性髄膜炎	1	0.07	-	4	0.01
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	0.00	9	0.02
クラミジア肺炎	0	0.00	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	3	0.01

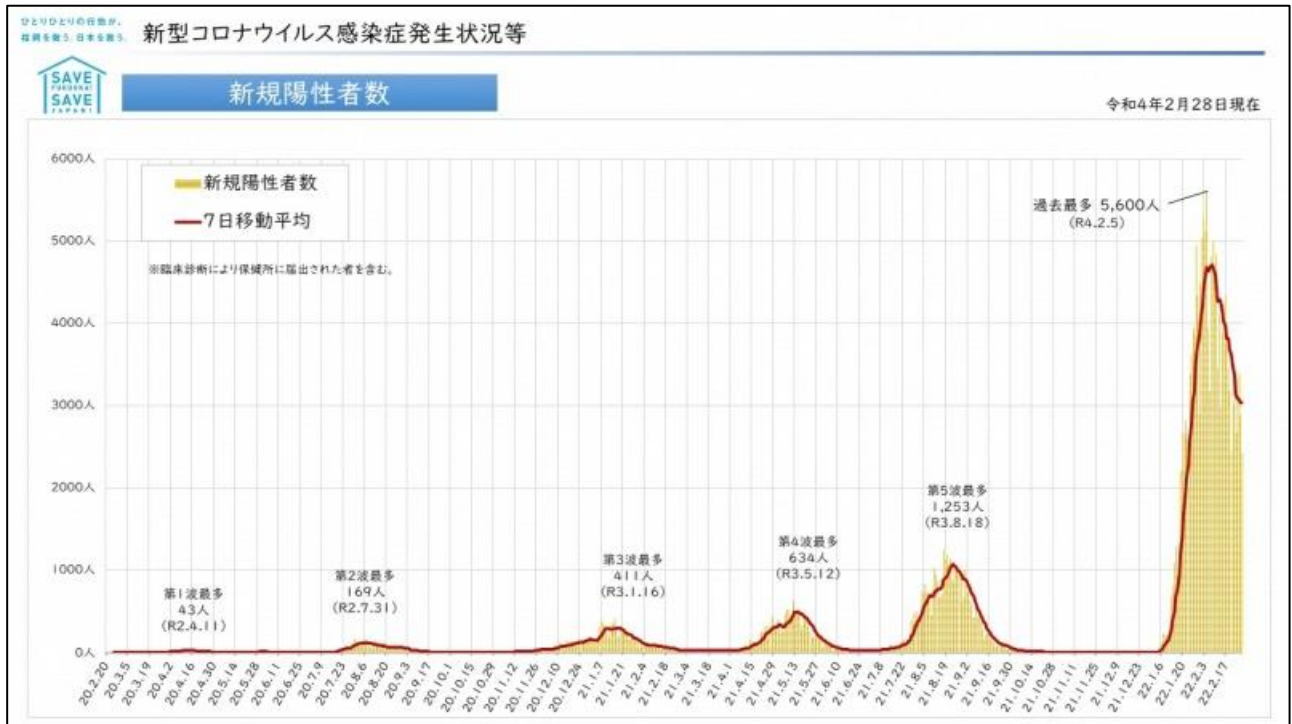
■ コメント

■ : 警報レベル

■ : 注意報レベル

- ・ 今週は祝日の影響で報告数が減少しています。
- ・ 今週は腸管出血性大腸菌感染症の報告が2件ありました。一般的な症状は腹痛、水っぽい下痢及び血便です。子どもや高齢者が感染した場合は重症化しやすく、溶血性尿毒症症候群（HUS）や脳症などの合併症を起こす場合があります。腸管出血性大腸菌は食肉などに付着し、生肉や加熱不十分な肉を食べることで感染します。調理する際は十分に加熱（中心温度 75℃で1分以上）しましょう。また、患者の便等で汚染された手を介して人から人へも感染することや、感染しても発症しないことがあり、知らずに家庭内で感染を広げることがあります。日頃から、石けんや流水で手洗いを行い、感染予防に努めてください。
- ・ 福岡県感染症情報ホームページ (http://www.fihef.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/) では、感染症発生情報、病原体検出情報などがご覧になれます。

○県内における新型コロナウイルス感染症の発生状況等について



・福岡県では、下記のホームページにて随時、発生状況や感染予防策などの情報提供を行っています。

◇新型コロナウイルス感染症ポータルページ

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/covid-19-portal.html>